



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより



「地域づくりは、皆さんの強い意気込みこそ大切！」

日本創成会議の人口減少問題検討分科会の試算が発表されました。それによると20~30代の女性の人口が、2040年に2010年の半数以下になるのは全国市町村の2割にあたる373の自治体、さらに、地方から大都市への人口移動が現在のペースで続けば全体の5割の896市町村で運営が行き詰まり消滅するという「消滅可能性都市」と位置付け、地域崩壊の危機を指摘されました。熊本県で消滅の可能性を指摘されたのは26市町村で、天草も無縁ではありません。若年女性の人口が50%減少すると、出生率が多少上昇しても人口維持は困難といわれています。若年女性の減少を早急に食い止めつつ、産みやすく、育てやすい環境をどうしたらつくれるのでしょうか。大都市への人口移動を食い止めるには、地方での「新たな価値」を創造できるかどうかにかかっています。地方の風土や文化に根差した多様な暮らし方や、自然と人とのつながりを実感する生き方、子どもが生き生きと育ちやすい環境は地方にたくさん埋もれているのではないのでしょうか。

従来のまちおこしは、何か箱モノを作ったり、市や町の助成金を目当てにイベ

ントを行ったりといったものが多かったように感じます。自分たちの内側から、やむにやまれず湧き上がってくるものから出発するという事は少なかったのではないのでしょうか。その土地に暮らす人たちが、自らの問題意識と「何とかしなければ」「もっとよくなりたい」という強い思いから生まれたものでなければ、どんなに予算を投じて自分たちのまちは元気になるしません。

まちおこしのためのまちおこしになってはならない、行政あるいは地域再生コンサルタントなど外部の人が、住民の意思とは関係ないところで「まちおこし」とか「地域活性化」の名のもとにトップダウンの施策を行うようではうまくいかないのは当然でしょう。地域再生のカギは、人が元気になればまちが元気になる、これがすべての出発点です。自分たちのまちを自分たちで復活させようという意気込みこそ大事であり、地域の人たちが積極的に挑戦し、そして成果を出し続けることの連続によって地域再生は実現すると思います。

皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 13

平成26(2014)年9月15日号

目次

- 会長あいさつ……………1
- 平成26年度まちづくり協議会を開催……………2~3
- 下浦地区のまちづくり事業の紹介など……………4
- イベントてんこ盛り……………5
- 各地区の話題……………6~7
- お知らせなど……………8



まちづくりのさらなる 推進に向けて!

「地域づくりは人づくり」をテーマに事業展開

～第1回 まちづくり協議会を開催～

平成26年度の事業計画・
収支予算を審議

平成26年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を7月1日、天草市民センターで開催しました。会議には、委員など22人が出席。中川竹治会長があいさつした後、任期(2年)満了に伴う役員改選が行われ、会長に中川竹治氏(再任)、副会長に龍石昭好氏(再任)、監事に池邊哲夫氏(新任)と江崎昌代氏(再任)が満場一致で選任されました。その後、平成25年度の事業・収支決算・監査の報告や、平成26年度の事業計画・収支予算などについて審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

本会では、「地域づくりは人づくり」をテーマに各種事業に取り組んでいます。会議の中でも「人材育成」の重要性が再確認され、今年度も「人づくり」を中心とした事業を継続することとなりました。そのため、「まちづくり研修」や「人材育成研修」などを引き続き実施していきます。まちづくりは、住民の皆さんが

主役です。各研修に参加して、本渡地域のまちづくりをより一層推進していただければと思います。

また、まちづくり発表会やまちづくり協議会だよりの発行(年2回)を計画しています。各種事業の情報は、本紙や各地区振興会だよりなどでお知らせする予定です。

各事業の紹介

本渡まちづくり協議会が行う平成26年度の事業内容は次のとおりです。今年度も、「人づくり」をテーマに各種研修などを実施しますので、皆さんの積極的なご参加をお願いします。

まちづくり研修事業

まちづくり研修事業は、地域の課題解決に向けた取り組みやコミュニティビジネスへの挑戦、子どもと高齢者の交流、生きがいづくりなど、地域の特徴を生かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学んだり、意見交

人材育成事業

まちづくりを推進する人材の発掘と育成を目的に、県内外の先進地を訪問し、研修などを行う事業です。今年度は役員改選が行われましたので、本会委員の研修として実施します。

まちづくり発表会

地域の実情と課題を再確認するとともに、共通認識を深めることにより、まちづくりのあり方を見出すことを目的に、各地区振興会の活動内容

平成26年度 収支予算		平成25年度 収支決算	
収入		収入	
予算額	17,085,200円	決算額	17,000,006円
○市交付金	16,686,000円	○市交付金	16,686,000円
○参加者負担金など	159,000円	○参加者負担金など	129,000円
○繰越金	240,147円	○繰越金	184,762円
○雑入	53円	○雑入	244円
支出		支出	
予算額	17,085,200円	決算額	16,759,859円
○運営費	295,000円	○運営費	274,730円
○事業費	1,997,000円	○事業費	1,750,129円
・人材育成事業	(626,000円)	・人材育成事業	(482,463円)
・まちづくり研修事業	(824,000円)	・まちづくり研修事業	(681,928円)
・まちづくり発表会	(120,000円)	・まちづくり講演会	(189,122円)
・まちづくり協議会だより発行	(427,000円)	・まちづくり協議会だより発行	(396,616円)
○地区振興会活動費	14,735,000円	○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費		※10地区振興会の活動費	
○予備費	58,200円	○次年度への繰越額	240,147円

換をしたりすることで、まちづくり活動の参考にしていただくものです。今年度は、本渡地域以外の地区振興会と交

流する「市内研修」を3回、市外の先進的な取り組みについて学ぶ「市外研修」を1回実施することとしています。

などを紹介する「まちづくり発表会」を4年ぶりに開催します。

配布しています。まちづくりに関する情報をわかりやすくお伝えできる紙面にしたいと思います。ご意見やご要望などがございましたら、本会事務局(市役所本庁・まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

本渡地域あるいは各地区のまちづくりについて考えていただく機会になればと思っています。

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(市役所本庁・まちづくり支援課) ☎ 11111 内線 1344 へお尋ねください。

まちづくり協議会だより発行

平成20年度から年2回、本渡地域にお住まいの皆さんに

本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	龍石 昭好	宮地岳地区振興会長
監事	池邊 哲夫	公募 ※
“	江崎 昌代	公募
委員	海江田雅晴	本渡南地区振興会長
“	鶴田 克幸	本渡北地区振興会長
“	船元 聖代	亀場地区振興会長
“	赤石 良一	杵宇土地区振興会長
“	松本 明博	志柿地区振興会長 ※
“	富安 英猛	下浦地区振興会長
“	鬼塚 邦照	楠浦地区振興会長
“	鶴田 正人	本町地区振興会長
“	洲崎 豊裕	佐伊津地区振興会長
“	寺澤 静子	文化関係
“	福岡 周孝	体育関係 ※
“	田中 大地	経済団体 ※
“	國武 裕子	観光関係
“	湯貫 秋男	産業関係 ※
“	小林みどり	高齢者福祉 ※
“	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さんです。

宮地岳 普賢岳健康ピクニック

健康づくりを目的に、天草を代表する「普賢岳」へのピクニックを開催します。どなたでも参加できますので、秋の一日をぜひお楽しみください。

昼食時には温かい豚汁のサービスや、宮地岳の特産品などが当たるお楽しみ抽選会もあります。

- ・と き=11月2日(日) 9:00~14:00 (8:30受付) ※雨天中止
- ・コース=宮地岳地区コミュニティセンター~普賢岳山頂(片道約7km)
- ・問い合わせ=宮地岳地区コミュニティセンター ☎0001

楠浦 ふれあいフェスティバル2014

「出あう・ふれあう・支えあう故郷づくり」をテーマに、今年度は楠浦小学校の学習発表会と合同で開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

- ・と き=11月16日(日) 10:30~
- ・ところ=楠浦小学校グラウンド・同校舎内
- ・内容=午前の部…郷土伝統芸能や楠浦小学校金管バンド部の演奏、住民や自主サークルの皆さんの芸能など。午後の部…学習発表会。このほか、写真・生花・書道などの作品展示や演芸、バザー(うどん・とり飯・がねあげなど)を予定
- ・問い合わせ=楠浦地区コミュニティセンター ☎4456

亀場ふるさと文化祭

初めての試みで「ふるさと文化祭」を開催します。ゲームコーナーや抽選会など盛りだくさんの内容です。皆さん、ぜひご来場ください。

- ・と き=11月23日(日・勤労感謝の日) 10:30~
- ・ところ=亀場運動広場(雨天の場合は亀川体育館)
- ・内容=ステージコーナー・ゲームコーナー・スポーツコーナー・食物コーナー・バザー・抽選会など
- ※小・中学生や自主サークルの作品展示を、前日の22日(土) 9:00~14:30、亀場地区コミュニティセンター講堂で実施
- ・問い合わせ=亀場地区コミュニティセンター ☎4473

下浦 第23回 下浦町ふるさと祭り

下浦地区をあげての一大イベントで、毎年多くの来場者で賑わいます。少し寒い時期ですが、皆さんのお越しをお待ちしています!

平成27年

- ・と き=2月1日(日) 9:00~15:00 (予定)
- ・ところ=下浦運動広場
- ・内容=ステージイベント・餅投げ・もちつき実演販売・ポンカン餅販売・石のポーリング・ポンカンピラミッド大会・石作品展示など(予定)
- ・問い合わせ=下浦地区コミュニティセンター ☎4733

イベント てんこ盛り

各地区で、さまざまなイベントが実施されます。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

佐伊津 第14回 佐伊津町ふるさと祭り

今年も、楽しいイベントを計画しています。ご家族やグループ、友だちどうしなど、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

- ・と き=11月9日(日) 9:30~15:00(予定)
- ・ところ=佐伊津地区コミュニティセンター
- ・内容=ステージ発表・賞品抽選会・作品展示・食品バザー・農産物販売・フリーマーケット・ゲームコーナーなど
- ・問い合わせ=佐伊津地区コミュニティセンター ☎4402

本渡北 クリスマス・イルミネーション

熊本県のキャラクター「くまモン」をかたどった電飾や雪だるまのオブジェ、タワーツリーを設置するなど、本渡北地区の夜を鮮やかに彩ります。皆さん、ぜひご覧ください。

- ・と き=11月16日(日)~12月27日(土) 17:00~21:00
- ※11月16日が雨天の場合は同23日から
- ・ところ=本渡北小学校・正門一帯
- ・問い合わせ=本渡北地区コミュニティセンター ☎4734

本町 第25回 本町ふるさと祭り

今年も、ステージイベントなど楽しい催しが満載です。皆さんのご来場をお待ちしています。

- ・と き=11月23日(日・勤労感謝の日) 9:00~15:30
- ・ところ=鈴木神社境内・本町地区コミュニティセンター周辺
- ・内容=ステージイベント・農産物品評会即売会・各種団体バザーや作品展示コーナー・うどんコーナーなど
- ・問い合わせ=本町地区コミュニティセンター ☎4735

伊宇土 第27回 伊宇土ふるさとまつり

今年も、楽しいステージイベントや農産物の即売会などを行います。皆さんのご来場をお待ちしています。

- ・と き=11月30日(日) 9:30~14:30
- ・ところ=伊宇土地区コミュニティセンター
- ・内容=品評会入賞農産物即売会・ステージイベント・展示コーナー・バザー・各種団体フリーマーケット・うどん・綿菓子・がねあげ・もち投げ・お楽しみ抽選会など
- ・問い合わせ=伊宇土地区コミュニティセンター ☎4736



志賀宮(人工島)も見学しました!

チャレンジ 石工の価値探り、さらに賑わいある下浦に!

下浦地区振興会では、個性ある地域づくりの推進などを図るために設けられた「天草市宝島づくりチャレンジ支援事業」で、今年度から3カ年をかけて、下浦で有名な「石工」の価値を探り、地域振興につなげるための調査研究に取り組みます。今回、第1弾として「下浦ワールドワーク」を開催しました。

「石工の里」として知られる下浦

下浦地区は下浦石の産地で、250年ほど前から石工の技法が受け継がれているなど、「石工の里」として知られています。

下浦の石工は、代表的なもので本市の祇園橋(国指定重要文化財)や楠浦の眼鏡橋(県指定文化財)をはじめ、長崎市・オランダ坂の石畳や軍艦島の護岸、宇城市・三角西港の石垣護岸なども手がけました。軍艦島や三角西港の護岸は、世界文化遺産候補に推薦されている「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとなっており、下浦の石工が持つ技術の高さがうかがえます。

地域振興に向けた事業スタート

下浦地区振興会では、歴史と伝統のある「石工」の価値を再評価するとともに、石工が手がけた製品のブランド化を図ることにより地域振興につなげようと、九州大学と連携し、その調査研究に取り組みます(事業期間は今年度から3年間)。

同事業の第1弾として7月25日から同27日までの3日間「下浦ワールドワーク(現地調査)」を開催しました。この取り組みには、同大学院の藤原恵洋教授や学生、社会人、地元住民など約100人が参加。同地区に石工技術が

今後の取り組み

今後は、ワールドワークの成果をあらためてまとめ、その発表会を10月に開催するほか、地元小・中学生と九州大学の大学院生との交流などを実施する予定です。また、今回の取り組みの進捗状況を住民の皆さんにお知らせするため事業通信を発行します。

富安英猛・下浦地区振興会会長は「九州大学や地元住民の皆さんと協力しながら、石工の価値などを探り、賑わいのある下浦地区をつくらしていきたい」と話していました。

新合地区振興会(河浦)と交流!

8月6日、まちづくり研修事業の第1回目の市内研修を開催し、本渡地域の住民など18人が参加しました。今回は、新合地区振興会を訪問。研修では、同会の役員が地区の概要や課題、同会の平成25年度の取り組みなどを説明した後、旧新合小学校の同窓生に地元産のお米を送る「ふるさと宅配便」や、閉校した小学校の跡地利用などについて活発な意見交換が行われました。





夏休みの楽しい思い出に

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

子どもたちの夏休みの思い出づくりを目的に8月23日、楠浦地区コミュニティセンターで子供夏祭りを開催しました。地域住民や保護者、先生方にご協力をいただき実施しているもので、当日は総勢約200人が参加。子どもたちは、出店での買い物やゲームなどを楽しんだほか、特設のお化け屋敷では何度も悲鳴をあげながらも、楽しいひとときを過ごしていました。今後も、地域住民と子どもたちが触れ合える場として続けていきたいと思っています。

うまく金魚をすくえるかな？

きれいな川と元気な子どもたちを守るために…

下浦地区振興会 会長 富安 英猛

8月18日、「生物調査勉強会」を開催しました。これは、地区内の遊水公園付近の川や水路で水中生物を捕まえ、川の生態系などを調べるとともに、子どもたちの夏の思い出をつくるために毎年行っているものです。今年は小学生など約20人が参加。子どもたちは元気に川を歩き回り、ずぶ濡れになりながら、シジミや大沼貝、ザリガニなどを捕まえていました。今後も、きれいな川と元気な子どもたちを地域全体で守っていききたいと思います。



「ザリガニとったー!!」

「男の料理教室」開催！

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

7月15日、本渡南地区コミュニティセンターで、「男の料理教室」を開催しました。当日は、私も含め9人が参加。食生活改善推進員協議会の大山美智子会長など5人の委員さんの指導のもと、ごぼう入りハンバーグ、かぼちゃスープ、ミルクかんの調理に、参加者を3組に分けて挑戦。ごぼうのささがき作りでは初めての人ばかりで、皆さん悪戦苦闘していました。手間かけた料理は大変おいしく、参加者は次の教室も楽しみにしていました。



皆さんで食べる直前の料理



お手製のプーメン。「うまく飛んだかな？」

学んで体験して、子どもと高齢者が交流！

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

本泉区では、地元の小学生を対象とした「わくわく教室」を同区公民館で開催しました。この教室は、夏休みの7月22日から8月22日までの平日の午前中に13回実施。子どもたちは1時間の自主学習をした後、住民有志や高齢者サロン「いずみ会」でつくる子育て応援隊のメンバーが先生役となって、本の読み聞かせや水鉄砲づくり、茶道などを実施。期間中、延べ169人の子どもたちが参加し、高齢者との交流を深めていました。

歴史ある町民球技大会

本町地区振興会 会長 鶴田 正人



グラウンドゴルフの開会式

本町には永年継続されているスポーツ事業があります。町民体育祭同様、先輩から継承していただきました町民球技大会です。ソフトボール・ソフトバレーボール・グラウンドゴルフの3種類の競技を行います。平成14年からナイター競技を昼間にするようになり、通算30回を迎えています。今年5月11日に開催。平成23年からはグラウンドゴルフも同日に競技をするようになりました。この種目の参加者が1番多く毎回100人超えです。老若男女、多数の方に参加いただき、皆さんに感謝です。これからも町民一同、スポーツに芸能、文化事業に邁進していきます。



にぎわった“そうめん流し”

亀場地区振興会 会長 船元 聖代

7月6日、「七夕会」を亀場地区コミュニティセンターで開催し、家族連れなど約150人が参加しました。同会では、七夕にちなんで紙芝居や七夕飾り作りを行った後、お楽しみの“そうめん流し”を実施。今年、例年好評のため、そうめん流しのセットを増設。子どもたちは大喜びしながらそうめんを口にしたり、幼児にそうめんをすくってあげる微笑ましい姿もあつたりしました。今後も「亀っ子」たちの健全育成の場をつくっていきます。



そうめん流しを楽しむ子どもたち

ラジオ体操の1日限定復活とグラウンドゴルフ

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

児童減少に伴い、地区ごとに集まって行われなくなった「夏休みのラジオ体操」が、今年は7月31日に1日限定で復活しました。当日は、世代間交流を兼ねてのグラウンドゴルフ大会もあり、早朝から運動広場はにぎやか。体操の時間には完全に目覚めきっていなかった子どもたちも、グラウンドゴルフの終盤には、あちらこちらで大歓声をあげていました。子どもたちやお年寄りのたくさんのパワーを感じた夏休みの1日の朝となりました。



ラジオ体操に取り組み子どもたち



ボール当てゲーム！「うまく当たるかな？」

高齢者と保育園児がふれあい交流

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

5月15日、地域の高齢者と佐伊津保育所の園児とのふれあい交流会を、佐伊津地区コミュニティセンターで開催しました。交流会では当初、特に園児たちが緊張しているようでしたが、“ボール当てゲーム”や体を動かす“ふれあい遊び”などを行ううちにすっかり打ち解け、最後は皆さんの笑顔があふれていました。次回は、本渡ふたば保育園の園児との交流を予定。世代間の交流を深めていくため、今後も続けていきたいと思っています。



「総合球技大会」を開催しました！

志柿地区振興会 会長 松本 明博

6月15日、「第9回志柿町総合球技大会」を開催しました。瀬戸小学校運動場でグラウンドゴルフ、本渡東中学校運動場でソフトボール、同体育館でミニバレーボールを実施。3競技で400人を超える参加があり、熱戦が繰り広げられました。各会場で見聞きされた多くの笑顔や、歓声、笑い声。これこそが本大会の目的達成の証であると思います。今年は曇り空でちょうどいい気候の中、大きな事故もなく、無事終了することができました。

さらに自然豊かな柗宇土に！

柗宇土地区振興会 会長 赤石 良一

快適な生活環境づくりと、町民一人ひとりの環境美化意識の高揚を図るため、7月20日、「清掃美化活動」を行いました。当日は、早朝より子どもからおとなまで約300人が参加。各区でそれぞれ市道の除草作業や空き缶・ゴミ拾いなどを行ったほか、大地区では“ホタルの舞う里”にしようと、初めて川の浄化のためEM活性液を柗宇土川に投入されました。このような取り組みが広がり、さらに自然豊かなまちになればと思っています。



EM活性液で柗宇土川を浄化！

ほんどのいま

平成26年9月1日現在
(H26.3.1との比較)

【本渡南】	男	4,244	人	(- 19)
	女	4,900	人	(- 37)
	計	9,144	人	(- 56)
	世帯数	3,975		(+ 6)
高齢化率		29.0%		
【本渡北】	男	5,202	人	(+ 20)
	女	5,748	人	(- 13)
	計	10,950	人	(+ 7)
	世帯数	4,609		(+ 54)
高齢化率		21.8%		
【亀場】	男	2,029	人	(- 16)
	女	2,356	人	(- 1)
	計	4,385	人	(- 17)
	世帯数	1,759		(- 4)
高齢化率		21.7%		
【杵宇土】	男	357	人	(- 2)
	女	354	人	(- 11)
	計	711	人	(- 13)
	世帯数	271		(- 1)
高齢化率		38.7%		
【志柿】	男	1,435	人	(- 8)
	女	1,664	人	(+ 3)
	計	3,099	人	(+ 5)
	世帯数	1,266		(+ 10)
高齢化率		27.6%		
【下浦】	男	874	人	(- 16)
	女	977	人	(- 19)
	計	1,851	人	(- 35)
	世帯数	761		(- 1)
高齢化率		39.9%		
【楠浦】	男	1,196	人	(- 11)
	女	1,362	人	(+ 3)
	計	2,558	人	(- 8)
	世帯数	1,018		(+ 10)
高齢化率		32.5%		
【本町】	男	895	人	(- 13)
	女	991	人	(- 13)
	計	1,886	人	(- 26)
	世帯数	850		(- 7)
高齢化率		33.6%		
【佐伊津】	男	1,585	人	(- 27)
	女	1,817	人	(- 26)
	計	3,402	人	(- 53)
	世帯数	1,436		(- 1)
高齢化率		32.9%		
【宮地岳】	男	290	人	(+ 2)
	女	292	人	(- 7)
	計	582	人	(- 5)
	世帯数	261		(± 0)
高齢化率		44.8%		
【合計】	男	18,107	人	(- 90)
	女	20,461	人	(- 121)
	計	38,568	人	(- 211)
	世帯数	16,206		(+ 66)
高齢化率		27.7%		

編集・発行

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-8631
熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-24-3501
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

住みよさを実感できる まちづくりを目ざして



志柿地区振興会 会長 松本 明博

今年度から、志柿地区振興会長という大役をおおせつかりました。何分にも慣れない役職であり、いたらないところが多々あると思いますが、町民の皆様また各役員の皆様にご協力をいただきながら一生懸命、努力していきたいと思っております。

志柿地区も他地区と同様に少子高齢化が進み、小学校の統合も間近に控えています。そのような中、志柿地区振興会では「郷土に対する意識の高揚に努め、各種事業の充実と推進を図ることに、志柿地区全体の活性化を推進し、住民相互の親睦と融和を深め、明るく豊かなまちづくりを目指すことを目的とする」と掲げておりますように、子どもたちからお年寄りまでが、住みよいまちと実感できるまちづくりに、諸先輩を見習いながら頑張っております。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

「まちづくり研修事業(市内研修)」 参加者募集!

本渡地域の地域づくり活動のさらなる推進を図るため、市内各地区の地域づくりについて学ぶ「まちづくり研修事業・市内研修」の参加者を募集します。今回は、多彩な催しや地元特産品のPRなどをする「えびす市」や、長さ25mの海上ゴザ渡りなどを行う「サマーイベント(みなと渡りリピック)」などを実施されている新和・大多尾地区の取り組みを学びます。参加料は無料です。皆さん、ぜひご参加ください。

◎対象：本渡地域在住の人。

◎と き：10月21日(木)午後7時30分から同9時まで。

※市役所裏駐車場に午後7時集合、同9時30分到着
予定(貸切バスを利用)。

◎内容：大多尾地区振興会の各種事業の紹介や、意見交換など。

◎定 員：25人(応募者多数の場合は抽選)。

◎申込方法：10月10日(金)までに、電話で各地区コミュニティセンターへお申し込みください。

編集後記

▼8月から各地区振興会の会長さん方と意見交換会を実施しています。少子高齢化などにより地域の今後が心配との意見を多くいただきました。今年度、まちづくり審議会や地区振興会を中心に、市民の皆さまの要望や意見等を反映させた「本渡地域まちづくり計画」を策定いただくこととしていきます。皆さまのご協力をお願いいたします。【上】

▼7月に2回、避難勧告が出されました。本渡北地区では、河川氾濫の恐れなどがあり、1回目の勧告のときに200人以上の人たちが避難。後日、地区の会合で、自主防災組織の体制や住民の避難方法などについて課題が出されています。災害はいつ起こるかわかりませんが、各地区でも事前

に十分な話し合いと対策をお願いできればと思います。【懐】